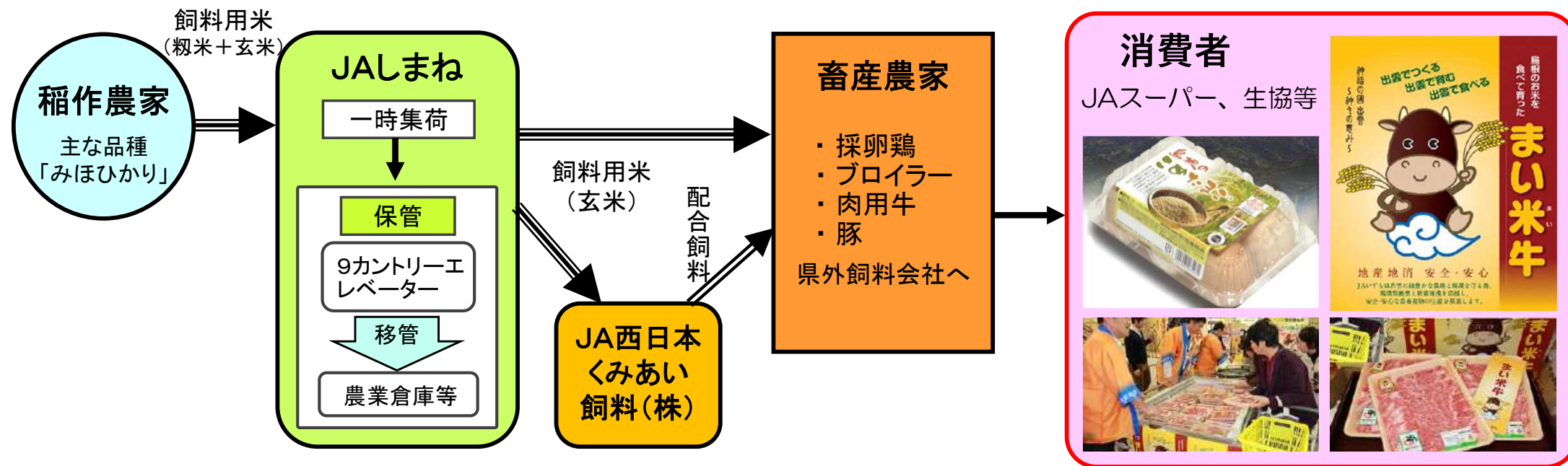


【肉牛・豚・採卵鶏・ブロイラー】（島根県飼料用米推進協議会）

- 主食用米の計画生産の推進、飼料自給率の向上に資する観点から、飼料用米の生産・利用の拡大、流通体制の構築を図ることを目的として、平成21年4月に「島根県飼料用米推進協議会」を設立。
（協議会構成員：JALしまね、JA西日本くみあい飼料（株）、県養鶏協会、県畜産振興協会、NOSAI、島根県）
- 採卵鶏農家が中心となって飼料用米の利用を開始し、その後、利用農家が肥育農家等の他畜種にも拡大。
- 県養鶏協会は、飼料用米を20%配合した飼料を給与して生産された卵を、「こめたまご」としてブランド化。
- JALしまね出雲地区本部は、飼料用米を5%添加した飼料を10ヶ月以上給与し肥育された牛肉を、「まい米牛（まいぎゅう）」としてブランド化。
- ブランド化された畜産物は、JA直営スーパー、生協しまね等で販売。



○ 飼料用米の生産状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
作付面積 (ha)	80	355	699	556	525	707	1,002	1,038	1,010	854	665	559
生産量 (玄米) (t)	340	1,528	3,256	2,509	2,408	3,716	5,082	4,997	5,103	4,154	3,295	2,584